

# MDAレポート

No.24号  
2012年1月19日

## やけどとその応急処置

寒気の厳しい今の季節は、暖房用などの燃焼器具に触れてヤケドをすることが多いものです。とくに小さなお子さんに注意が肝心です。

ヤケドは、傷の程度によって1.2.3度の3段階に分けられます。1度であればこれまでの治療法でも傷跡は残さず治すことができますが、皮膚の深い部分にまで達した2度のヤケドは、ともすると皮膚移植の必要な3度のヤケドに進んでしまうことが多いようです。

ヤケドの手当には、まず冷やすことが良いといわれています。医者につけける前につぎに述べる応急処置を施こして、お子さんの大切な身体を守ってやって下さい。ヤケドは最初の応

急処置が肝要で、これを誤るとヤケドの障害はさらに深部までおよんで行きます。

ヤケドは瞬間的に表皮部分だけに障害を与えるようにみえますが、時間とともにさらに深部へ達し、二次障害へと進みます。(図1)。適切な処置によって、ヤケドした部分だけでくい止めるのが、ポイントとなります。

効果的な応急処置

悪化率0%のMDAイオン水による冷却法  
①ヤケドをしたら、まず患部を直接20℃活性タ  
ンクの水の中に入れるか、容器にイオン水(な

図1 ヤケドの一次障害から二次障害への伝わり方

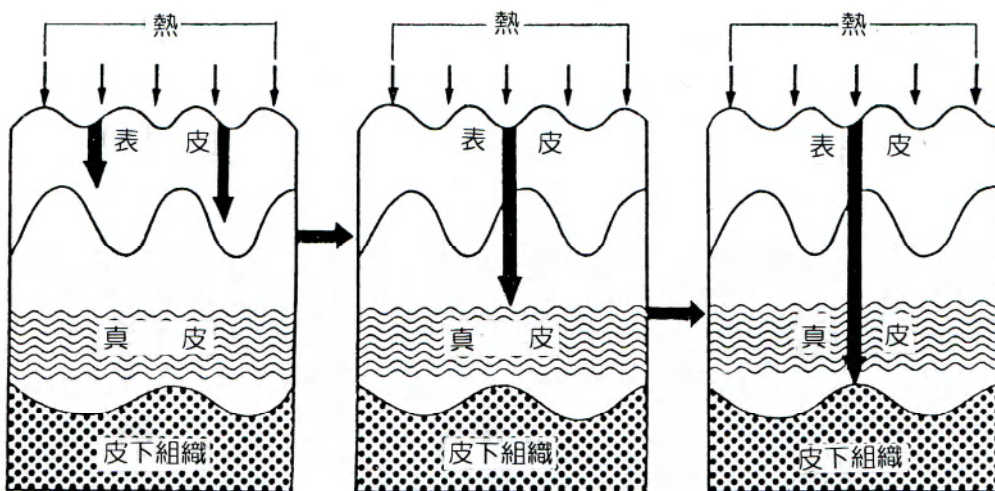
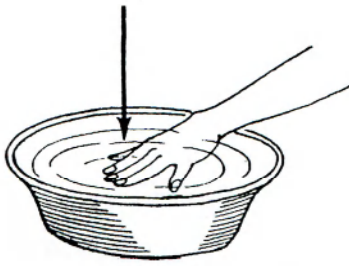


図2

氷を入れて水温を下げる



MDAマイナスイオン帯電水

ければ水道水)を入れ患部を冷やす。冷蔵庫より氷を取り出し水温が6~8℃位になるまで適宜入れる(図2)。

②MDA円型板、MDA角型板、MDAイオン活性シートを取り出して容器の下に敷き、そのまま約1~2時間冷却する。

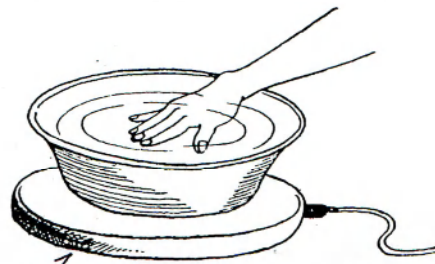
最初はピリピリして耐えられないような痛さを感じるが5~20分位で、痛みはうそのように消える。消えたらMDAイオン水を全部取り替え、水温を下げた中で連続長時間冷却法を続ける(水の取り替え作業はなるべく早く、休まないのがコツです)(図3)

③その後の症状により、医師の指示に従って下さい。

水道水でも冷却法は効果を発揮しますが受傷後直ちにMDAイオン水冷却法を行いますと悪化率0%にすることができます。受傷後5時間以内なら水疱面積が広がるようなことはありません。

図3

水温は6~8℃ぐらいまで下げる。



MDA円型板

※MDAレポートは皆様のミニコミです。MDAレポートに関するご批判、ご意見ご提言、皆様の体験レポート(家庭用、工業用)あるいはご質問など何でも結構です。書欄にて当社までお寄せください。

〒921-8831

石川県石川郡野々市町下林4-499-2

丸子電子株式会社

TEL<076>246-6806

FAX<076>248-0103

MDA特性総合研究所

TEL<076>246-6863